

TOKYO強靱化プロジェクトのアップグレード

直面する5つの危機への対策

風水害
対策

地震
対策

火山噴火
対策

電力・通信
等の途絶対策

感染症にも
強いまちづくり

- ✓ 国内外で相次ぐ災害、気候危機の深刻化
- ✓ 2040年代の「強靱で持続可能な東京」の実現に向け、その道筋を確かなものにするため、ハード・ソフト両面で施策を強化

総事業規模 : **17** 兆円

うち当初10年間 : **7** 兆円



アップグレードのポイント①

激甚化する風水害から都民を守る
(気候変動に伴う1.1倍の降雨量に対応)

✓ 地下河川の
事業化に向け
取組着手

✓ グリーン
インフラ
の活用

大地震があっても「倒れない・
燃えない・助かる」まちをつくる

✓ 耐震化、
液状化対策
の支援強化

✓ マンション
防災の充実
強化



アップグレードのポイント②

噴火が起きても都市活動を維持する

- ✓ 富士山噴火を想定。除灰手順や資機材確保等、対策を具体化



電力・通信・データ不安を解消する

- ✓ 次世代型技術も活用した再エネ導入促進、グリーン水素の実装加速化



感染症にも強いまちをつくる

- ✓ 西新宿の空間再編やKK線再生に向けた事業化を推進



Aiming for "Safety for the Next 100 Years"
TOKYO RESILIENCE PROJECT

TOKYO

強靱化

PROJECT



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT